

第2次岐阜県リニア中央新幹線活用戦略【概要】（案）

【見直し方針】

令和4年4月25日決定の「リニア活用戦略の改訂方針」に基づき、現活用戦略を加筆修正

I 戦略策定の背景と目的

- はじめに
(リニア活用戦略の改訂の経緯を整理)
- リニア中央新幹線を活用した戦略的な地域づくり
「地域づくりへの活用と戦略」
「リニア活用戦略」
「リニア中央新幹線開業を見据えた岐阜県の取組み状況」

リニア中央新幹線における岐阜県駅周辺地域の位置づけ



[リニア中央新幹線建設促進期成同盟会HPより岐阜県作成]

II 戦略の視点

- 新** 新たな社会情勢の変化への対応
「新次元の地方分散」 「SDG s の推進」 「盛土、残土などの環境対策」
- 広域的な効果の波及
「県内アクセス整備」 「リニア名古屋駅及び岐阜羽島駅の活用」 「隣接県からの利用」
- 大都市機能の分担
新 「スーパー・メガリージョンの進化」 「首都機能の分担」
- 岐阜県独自の魅力の発揮
「地域独自の魅力の重要性」 「岐阜県独自の魅力」 **新** 「森のまちづくり」

III 戦略の基本的方向性

現戦略の地域づくりの方向性「観光振興・まちづくり戦略」「産業振興戦略」「基盤整備戦略」の三本柱を維持しつつ、**新たな戦略の視点を踏まえた展望へブラッシュアップ**

1 観光振興・まちづくり戦略

- リニア岐阜県駅半径約50km圏域の集中的な観光振興
- リニア岐阜県駅から東西南北への観光軸の形成
- リニア岐阜県駅周辺から県全体、隣接県への観光振興
- 広域観光による海外誘客の推進
- リニア中央新幹線、総合車両基地の観光資源としての活用
- 観光から移住・定住人口の拡大
- 移住・定住の推進
- 人口流出の抑制
- 新** ○人材育成の強化

2 産業振興戦略

- 企業誘致の促進
- 事業継続の観点からの都市代替機能の誘致
- 総合車両基地の活用
- 建設段階経済効果の享受
- 新** ○クリエイティブ人材の呼び込み
- 新** ○持続可能な地域づくりの推進

3 基盤整備戦略

- 新** ○岐阜県らしい駅及び駅周辺の整備
- 駅からの道路ネットワークの整備
- 駅からの鉄道ネットワークの整備
- 駅からのバスネットワークの整備

IV 重点的に展開する施策

戦略の基本的方向性の実現に向けて、既存施策の見直しを行うとともに「4つの新たな施策」を加え、18の重点的に展開する施策を設定

新 4つの新たな施策

東美濃地域での「住みたい岐阜県」の実現に向けて、同地域の豊かな自然環境や伝統文化等を十分に活かしながら、クリエイティブな人材を呼び込み、イノベーションが生まれやすい地域づくり（「森のまちづくり」）を推進

職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくり

- 幅広い人材供給のニーズに応える地元教育環境の充実
- 岐阜県ならではの魅力的な教育環境の充実
- 女性や若者の魅力的な職場確保や中山間の小さな拠点整備を通じた地域人材の育成



東美濃の森林や伝統文化を活かし、創造性あふれるまちづくり

- 研究機関等の誘致
- 「森の中のスタートアップ拠点（仮称）」の整備
- 産学官連携による支援



森のまちづくり

リニア岐阜県駅及び駅周辺の「岐阜県」らしさの追求

- 道路・バスネットワーク強化やシームレスな二次交通実現による交通のハブ化
- 個性的な空間の整備
- 新モビリティを見据えた整備（MaaS、自動運転等）



防災や環境に配慮した安全・安心なまちづくり

- リニア建設工事の進捗に伴う環境保全・防災対策の徹底
- 開発と規制のバランス
- 経済のグリーン化の推進



既存施策の見直し

現行の戦略における重点的に展開する施策を踏襲しつつ、施策の進捗状況や新たな社会情勢の変化等を踏まえ、再設定

観光振興・まちづくり戦略（6施策）

- 観光による地域経済循環
- 東美濃地域内の観光資源の更なる掘り起こし、磨き上げ
- 東美濃地域からの広域周遊観光の創出
- リニア中央新幹線を活用した産業観光ルートの開発、商品造成
- 移住・定住の推進
- リニアを活かす関係人口の拡大



産業振興戦略（5施策）

- サテライトオフィス誘致の推進
- 都市機能の一部代替を担うインフラの整備促進
- 地域の特性に応じた産業クラスターの集積、構築の推進
- 総合車両基地の地域経済への効果波及
- 建設段階の経済効果波及



基盤整備戦略（3施策）

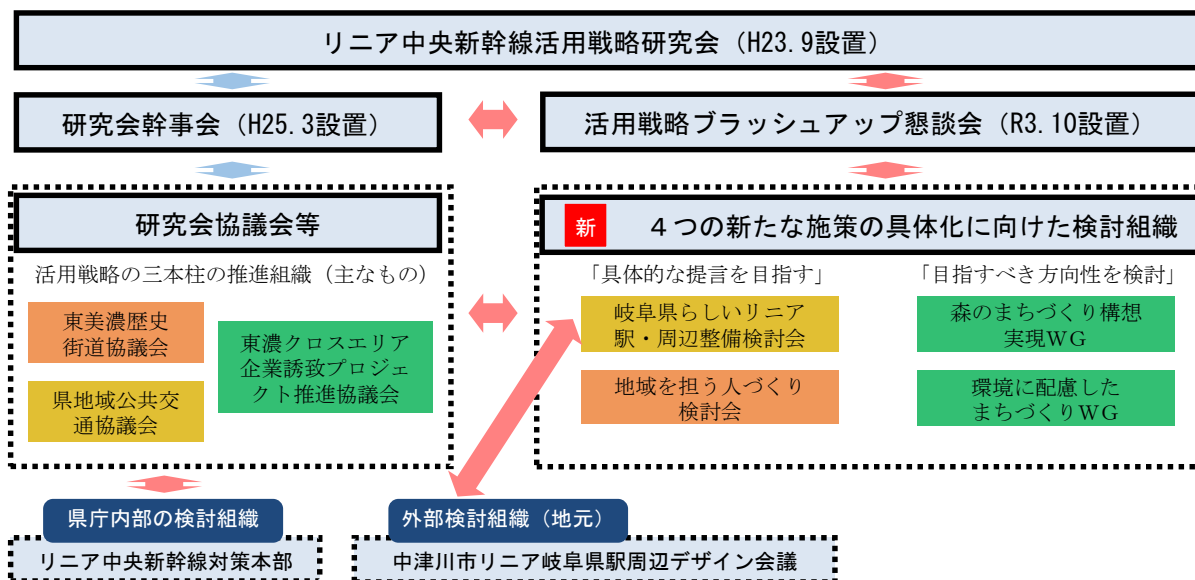
- リニア開業を契機とする交通インフラの強化
- リニア岐阜県駅の利用需要の確保
- 持続可能な二次交通の整備



V 今後の進め方

1 推進体制

リニア活用戦略研究会、活用戦略ブラッシュアップ懇談会を中心に、「オール岐阜体制」で取組みを推進



新 2 財源確保

- 県や市町村は、国費や民間資金などの活用を十分検討

新 3 進捗管理

- 重点的に展開する施策の具体化に向けて、今後の対応・事業方針を「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略アクションプラン」としてとりまとめ
- 毎年度進捗状況を把握、活用戦略ブラッシュアップ懇談会へ報告後、活用戦略研究会にて進捗状況検証、必要に応じてスクラップ&ビルド
- 今後の対応・事業方針の進捗管理を図るため、以下のロードマップを作成

(イメージ)

今後の対応方針	事業方針	実施主体	ロードマップ	
			<名古屋開業>	<全線開業>
リニア総合車両基地を核とした産業人材供給に向けた地元教育の充実	地元教育環境の強化			
	地域を担う人づくり推進事業	県市町村地元経済団体等	地域を担う人づくり検討会	(仮称) 東のモノづくり拠点整備事業
東美濃地域の特色を活かした創造性あふれる若者、クリエイティブ人材の誘致	「森の中のスタートアップ拠点(仮称)」の具体化			
	森のまちづくり構想実現推進事業	県市町村地元経済団体	森のまちづくり構想実現WG	(仮称) 森の中のスタートアップ拠点の具体化
地域の乱開発防止に向けた規制等に関する検討	開発と規制のバランス			
	環境に配慮したまちづくり推進事業	県市町村まちづくり協議会	環境に配慮したまちづくりWG	環境に配慮したまちづくりの更なる推進
リニア岐阜駅及び駅周辺の一体的な整備	交通のハブ化、個人的な空間整備、新モビリティへの対応			
	岐阜県らしいリニア駅・周辺整備推進事業	県市町村JR東海等	岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会	岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会
		JR東海(駅舎)	設計・工事	
		中津川市(駅周辺整備)	設計	工事

新 4 目指す姿

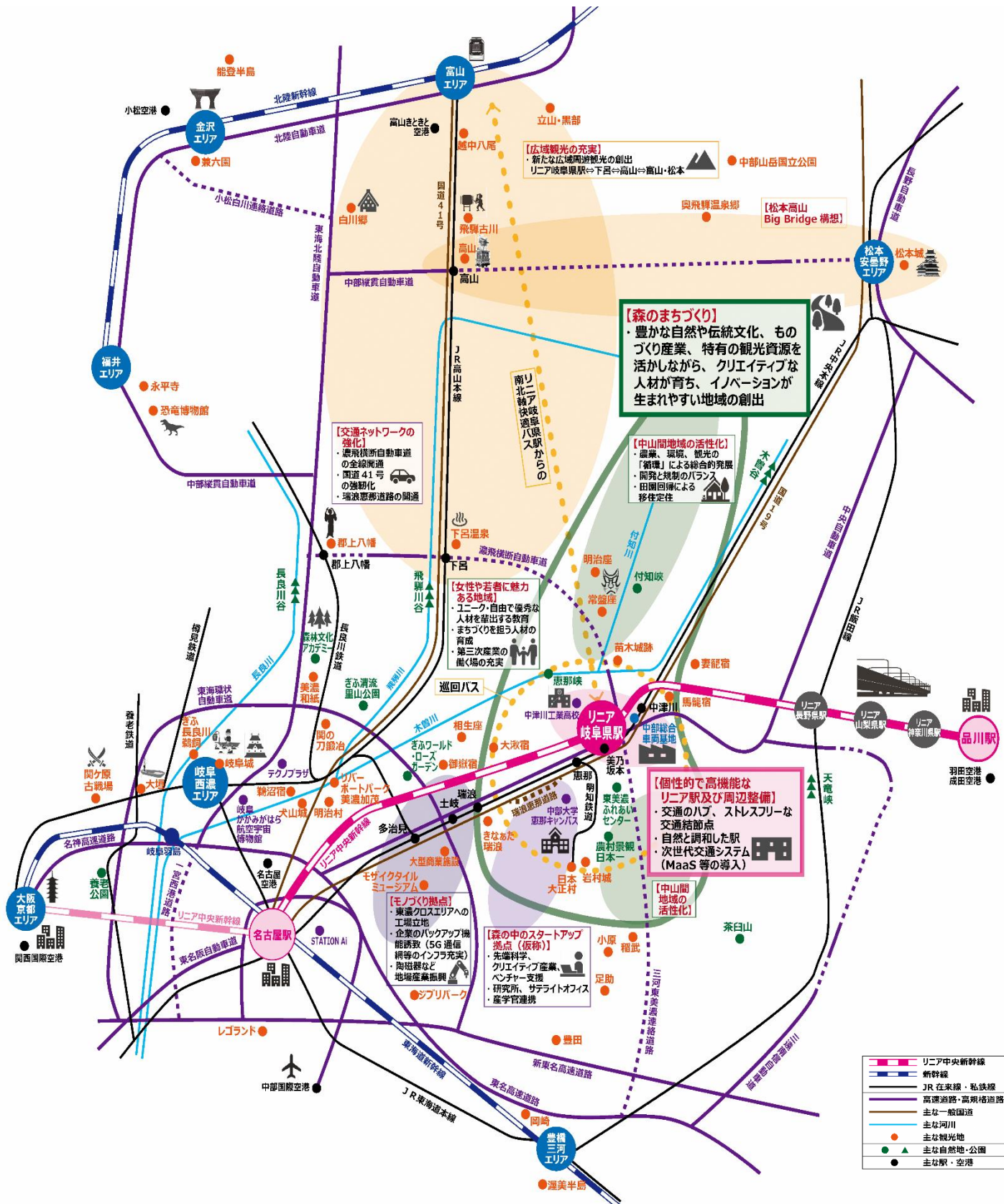
- 戦略実現後のビジョン(リニア中央新幹線を活用した地域づくり)を図式化

5 随時見直し

- 社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて活用戦略を見直し

リニア中央新幹線を活用した地域づくり ～東美濃地域を中心とした20××年の姿～

リニア開業効果をリニア岐阜県駅から東美濃地域、県内全域、そして隣接県へ波及させることを目指す



リニア中央新幹線	リニア中央新幹線
新幹線	新幹線
JR在来線・私鉄線	JR在来線・私鉄線
高速道路・高規格道路	高速道路・高規格道路
主な一般国道	主な一般国道
主な河川	主な河川
主な観光地	主な観光地
主な自然地・公園	主な自然地・公園
主な駅・空港	主な駅・空港